

航空電子整備員(1/2)

1 仕事の内容等

航空電子整備員は、航空基地やヘリコプター搭載護衛艦で勤務し、航空機や管制塔などの地上施設で使用される無線機やレーダーなどの電子機器の整備を行います。

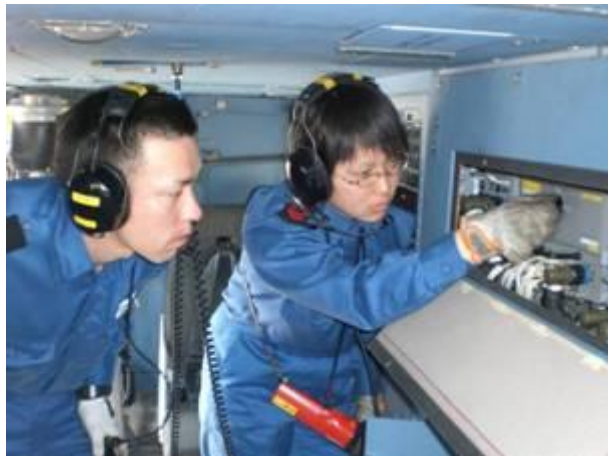
女性の割合も高く、護衛艦に乗り組むなど配置も拡大しつつあります。
また、航空機の搭乗員の多くは、航空電子整備員から選抜されます。

2 仕事に就くために

教育隊終了後、航空整備要員として約1年間航空部隊等で勤務。その後、第3術科学校の海士航空電子整備課程(約4カ月)を経て、航空隊又は整備補給隊の航空電子整備員として勤務します。

3 主な勤務地

全国13カ所(大湊、八戸、下総、館山、厚木、舞鶴、徳島、小松島、岩国、小月、大村、鹿屋、那覇)の航空基地及び全国5カ所の総監部(大湊、横須賀、舞鶴、呉、佐世保)を母港とするヘリコプター搭載護衛艦、第3術科学校等の教育部隊などがあります。



(ヘリコプターの飛行準備)



(無線機の整備)



(ヘリコプターに乗務する航空士)

航空電子整備員(2/2)

4 取得可能な資格及び免許

- ・ 部内資格:整備士(航空無線機、航空電子装備)、航空士(通信・偵察等)、航空無線通信士など
- ・ 国家資格等:無線技術士、電気工事担任者、情報処理技術者など

5 ライフスタイル(10年間の配置換え等)

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
教育隊(練習員課程等)	航空隊、整備補給隊等 (航空整備要員)	第3術科学校 (海士航空電子整備課程)	航空隊、整備補給隊等 (航空電子整備員)		教育隊(初任海曹課程)		航空隊、整備補給隊、 ヘリ搭載護衛艦等 (航空電子整備員)		航空隊、整備補給隊、 ヘリ搭載護衛艦等 (航空電子整備員)

6 先輩からの一言



仕事に必要な知識を身に付けることは簡単ではありませんが、そのぶんやり甲斐もある仕事です。勉強すれば、関連の公的資格も取得できます。

